



## 『巢枝翁見聞夜話』

『巢枝翁見聞夜話』は田村酒造創業者の田村勘次郎の次男金右衛門が、明治2年、還暦を期に書き残したものです。巢枝とは金右衛門の俳号です。ここには晩年の金右衛門が自分の来し方を気持ちのまま綴ったものが描かれています。現在の田村酒造場の始まりをはじめ、幕末期の福生周辺の気候、風土、天変地異、珍談奇談、政情、民族風習、民話、生物など広範囲にわたる記述が残ります。